

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 祐介 (TEL) 06(6765)8201
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	23,318	△8.6	682	△39.7	634	△42.6	356	△47.2
2019年3月期	25,511	8.1	1,131	34.5	1,104	32.0	674	45.7

(注) 包括利益 2020年3月期 303百万円(△46.5%) 2019年3月期 566百万円(9.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	51.85	—	6.5	4.2	2.9
2019年3月期	98.25	—	13.0	7.6	4.4

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	15,489	5,555	35.6	803.56
2019年3月期	14,982	5,444	36.1	786.48

(参考) 自己資本 2020年3月期 5,519百万円 2019年3月期 5,401百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△11	△284	597	2,052
2019年3月期	330	△238	40	1,766

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	11.00	—	17.00	28.00	192	28.5	3.7
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00	144	40.5	2.6
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

※2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1 社（社名）大西機工株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,868,840株	2019年3月期	6,868,840株
2020年3月期	335株	2019年3月期	335株
2020年3月期	6,868,505株	2019年3月期	6,868,591株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,565	△7.2	466	△43.5	548	△41.1	320	△42.9
2019年3月期	19,996	8.8	826	19.7	931	35.5	560	52.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	46.60	—
2019年3月期	81.60	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	12,894	4,567	35.4	665.01
2019年3月期	13,090	4,474	34.2	651.44

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,567百万円 2019年3月期 4,474百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の個別業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2020年5月27日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や設備投資を中心とした国内需要が増加し、一定の底堅さを維持しておりましたが、世界経済の減速を背景とした輸出減少等により製造業を中心として景況感が悪化いたしました。世界経済は、米中貿易摩擦問題及び英国EU離脱による欧州経済への影響等により停滞感が強まりました。加えて、第4四半期において、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い国内外の経済が大きく影響を受け、景気及び先行きは非常に厳しい状況となっております。

また、当社の属する工作機械及び機械工具業界は米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大による顧客工場の稼働停止による需要減退により低調に推移しました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、海外事業における営業拠点の新設や切削工具事業における新商材の拡販キャンペーンに加え、M&A戦略の推進等、年間を通じてグループの持続的成長の取り組みを推進いたしました。厳しい事業環境を背景に業績は低調に推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は23,318,797千円（前連結会計年度比8.6%減）、営業利益は682,014千円（前連結会計年度比39.7%減）、経常利益は634,017千円（前連結会計年度比42.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は356,158千円（前連結会計年度比47.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、キャンペーン等の営業施策やテクニカルセンターにおける各種ツールを活用したユーザーとの密着度を上げる取組みにより当社オリジナル商品の販売が好調に推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大等による市場環境の低迷に伴う販売減を補完するに至らず売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は14,785,433千円（前連結会計年度比7.7%減）、セグメント利益は347,389千円（前連結会計年度比43.3%減）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、主要販売先である製缶業界への取り組みをはじめとして、製袋・電池・破砕刃等の業界へも積極的に展開いたしました。しかしながら、前年度と比較して大口設備投資案件が減少したことや、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大等による市場環境の低迷に伴う販売減を主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,525,879千円（前連結会計年度比17.5%減）、セグメント利益は230,655千円（前連結会計年度比29.1%減）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、フィリピン保税区外やロシアへの新現地法人設立をはじめとした営業拠点拡充施策によりグローバル展開を加速化しました。しかしながら、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大等により現地法人の売上が低迷したことを主因として売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は4,833,793千円（前連結会計年度比6.6%減）、セグメント利益は28,458千円（前連結会計年度比79.8%減）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、展示会出展による新規顧客の獲得や新規商材の拡販等を実施しましたが、半導体材料の輸出規制等の影響により一部案件の進捗・納品が遅延したことを主因として売上高は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,173,691千円（前連結会計年度比6.5%減）、セグメント利益は76,174千円（前連結会計年度比41.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて129,061千円増加し、12,461,112千円となりました。これは主に、現金及び預金が325,451千円、取扱製品の拡充などにより商品が247,786千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が500,249千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて378,137千円増加し、3,028,277千円となりました。これは主に、のれんが111,413千円、投資有価証券が31,055千円、差入保証金等の増加により投資その他の資産のその他が144,613千円、建物及び構築物（純額）が32,122千円、土地が67,298千円増加したことなどによります。

うち、大西機工株式会社とのM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金123,561千円、受取手形及び売掛金159,996千円、商品174,128千円、建物及び構築物29,938千円、土地67,298千円、のれん111,413千円、投資その他の資産184,805千円であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて507,198千円増加し、15,489,390千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて446,974千円減少し、7,687,119千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が673,792千円、未払法人税等が197,138千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が245,676千円、短期借入金が210,763千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて843,097千円増加し、2,247,028千円となりました。これは、長期借入金が744,496千円増加したことなどによります。

うち、大西機工株式会社とのM&Aによる影響額（増加）は、支払手形及び買掛金186,329千円、短期借入金30,000千円、1年内返済予定の長期借入金82,344千円、長期借入金309,029千円であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて396,123千円増加し、9,934,148千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて111,075千円増加し、5,555,241千円となりました。これは、利益剰余金が163,840千円（親会社株主に帰属する当期純利益による増加356,158千円、剰余金の配当による減少192,318千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が10,418千円減少したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,052,340千円（前連結会計年度比16.2%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、11,504千円（前連結会計年度は330,482千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益594,837千円、売上債権の減少額644,494千円、減価償却費125,739千円などであり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少851,697千円、たな卸資産の増加額73,922千円、法人税等の支払額418,872千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、284,737千円（前連結会計年度は238,873千円の使用）となりました。

支出の主な内訳は、子会社株式の取得による支出99,997千円、有形固定資産の取得による支出62,529千円、保険積立金の積立による支出50,671千円、無形固定資産の取得による支出48,919千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、597,598千円（前連結会計年度は40,161千円の獲得）となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1,100,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出501,201千円、配当金の支払い191,997千円などであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの世界各地で感染拡大が続き、海外のみならず国内経済に大きな影響を及ぼしております。そのため、現時点で業績予想の合理的な算定が困難であることから予想値の公表を見送ることといたします。

今後の見通しに関しましては、状況が収束し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準につきましては、国内の同業他社の動向及び、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,857,866	2,183,318
受取手形及び売掛金	5,352,713	4,852,463
商品	4,817,492	5,065,279
その他	351,395	400,432
貸倒引当金	△47,416	△40,381
流動資産合計	12,332,051	12,461,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	894,999	998,991
減価償却累計額	△582,148	△654,018
建物及び構築物 (純額)	312,850	344,973
土地	891,806	959,104
その他	407,890	440,382
減価償却累計額	△261,027	△303,392
その他 (純額)	146,862	136,990
有形固定資産合計	1,351,519	1,441,067
無形固定資産		
のれん	—	111,413
その他	231,869	234,476
無形固定資産合計	231,869	345,890
投資その他の資産		
投資有価証券	210,231	241,287
繰延税金資産	317,769	314,456
その他	555,568	700,182
貸倒引当金	△16,819	△14,607
投資その他の資産合計	1,066,750	1,241,319
固定資産合計	2,650,139	3,028,277
資産合計	14,982,191	15,489,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,186,339	4,512,546
短期借入金	1,697,913	1,908,676
1年内返済予定の長期借入金	419,532	665,208
未払法人税等	246,063	48,925
賞与引当金	192,200	165,560
役員賞与引当金	46,640	7,700
その他	345,405	378,503
流動負債合計	8,134,094	7,687,119
固定負債		
長期借入金	916,995	1,661,491
繰延税金負債	—	14,906
役員退職慰労引当金	213,328	233,462
退職給付に係る負債	263,775	311,184
その他	9,831	25,984
固定負債合計	1,403,930	2,247,028
負債合計	9,538,024	9,934,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,682,091	4,845,931
自己株式	△219	△219
株主資本合計	5,362,268	5,526,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,219	△13,887
為替換算調整勘定	17,454	7,035
その他の包括利益累計額合計	39,673	△6,851
非支配株主持分	42,224	35,984
純資産合計	5,444,166	5,555,241
負債純資産合計	14,982,191	15,489,390

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)
売上高	25,511,098	23,318,797
売上原価	20,133,606	18,401,076
売上総利益	5,377,492	4,917,721
販売費及び一般管理費	4,245,585	4,235,706
営業利益	1,131,906	682,014
営業外収益		
受取利息	1,923	2,325
受取配当金	6,655	6,276
仕入割引	47,366	27,609
補助金収入	11,369	11,519
保険解約返戻金	15,063	650
その他	12,395	19,851
営業外収益合計	94,773	68,231
営業外費用		
支払利息	25,794	30,675
売上割引	43,545	42,344
為替差損	32,163	23,903
売上債権売却損	13,055	12,523
その他	7,233	6,781
営業外費用合計	121,793	116,228
経常利益	1,104,887	634,017
投資有価証券評価損	—	39,180
特別損失合計	—	39,180
税金等調整前当期純利益	1,104,887	594,837
法人税、住民税及び事業税	444,824	230,375
法人税等調整額	△26,213	15,281
法人税等合計	418,610	245,657
当期純利益	686,276	349,180
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	11,439	△6,978
親会社株主に帰属する当期純利益	674,837	356,158

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	686,276	349,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,741	△36,106
為替換算調整勘定	△96,558	△9,679
その他の包括利益合計	△119,299	△45,786
包括利益	566,977	303,393
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	557,622	309,633
非支配株主に係る包括利益	9,354	△6,239

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	350,198	330,198	4,158,363	△118	4,838,641
当期変動額					
剰余金の配当			△151,109		△151,109
親会社株主に帰属する当期純利益			674,837		674,837
自己株式の取得				△100	△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	523,727	△100	523,627
当期末残高	350,198	330,198	4,682,091	△219	5,362,268

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	44,960	111,927	156,887	32,869	5,028,398
当期変動額					
剰余金の配当					△151,109
親会社株主に帰属する当期純利益					674,837
自己株式の取得					△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,741	△94,473	△117,214	9,354	△107,859
当期変動額合計	△22,741	△94,473	△117,214	9,354	415,767
当期末残高	22,219	17,454	39,673	42,224	5,444,166

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	350,198	330,198	4,682,091	△219	5,362,268
当期変動額					
剰余金の配当			△192,318		△192,318
親会社株主に帰属する当期純利益			356,158		356,158
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	163,840	—	163,840
当期末残高	350,198	330,198	4,845,931	△219	5,526,108

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	22,219	17,454	39,673	42,224	5,444,166
当期変動額					
剰余金の配当					△192,318
親会社株主に帰属する当期純利益					356,158
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△36,106	△10,418	△46,525	△6,239	△52,764
当期変動額合計	△36,106	△10,418	△46,525	△6,239	111,075
当期末残高	△13,887	7,035	△6,851	35,984	5,555,241

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,104,887	594,837
減価償却費	107,976	125,739
のれん償却額	25,392	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,631	△8,236
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,283	△26,859
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,410	△38,980
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,861	28,730
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18,940	20,134
受取利息及び受取配当金	△8,578	△8,601
支払利息	25,794	30,675
為替差損益 (△は益)	5,106	3,004
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5,096	1,553
保険解約返戻金	△15,063	△650
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,129	644,494
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△663,915	△73,922
仕入債務の増減額 (△は減少)	237,084	△851,697
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39,180
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,244	29,732
その他	△14,645	△78,803
小計	808,887	430,331
利息及び配当金の受取額	8,576	8,599
利息の支払額	△22,757	△31,562
法人税等の支払額	△464,223	△418,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	330,482	△11,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113,276	△62,529
有形固定資産の売却による収入	1,503	486
無形固定資産の取得による支出	△86,488	△48,919
投資有価証券の取得による支出	△12,739	△15,317
定期預金の預入による支出	△5,567	△6,061
子会社株式の取得による支出	—	△99,997
保険積立金の積立による支出	△51,666	△50,671
保険積立金の満期による収入	20,258	—
保険積立金の解約による収入	7,414	2,379
その他	1,688	△4,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,873	△284,737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	74,177	192,505
長期借入れによる収入	600,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△481,322	△501,201
自己株式の取得による支出	△100	—
配当金の支払額	△150,908	△191,997
非支配株主への配当金の支払額	△1,684	△1,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,161	597,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,196	△15,062
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	91,573	286,294
現金及び現金同等物の期首残高	1,674,472	1,766,046
現金及び現金同等物の期末残高	1,766,046	2,052,340

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、部・本部・事業部を基礎とした取扱商品・サービス別に区分したセグメントから構成されており、「切削工具事業」、「耐摩工具事業」、「海外事業」及び「光製品事業」の4つの報告セグメントに区分されております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「切削工具事業」は、国内向けに切削工具、保持工具、測定機器、工作機械等を販売しております。

「耐摩工具事業」は、国内向けに製缶工具および破碎工具等を販売しております。

「海外事業」は、海外向けに切削工具、製缶工具、保持工具、測定機器、工作機械、鉱物資源等を販売しております。

「光製品事業」は、光ファイバー、光源装置、光学部品等の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,019,400	3,063,161	5,173,271	1,255,265	25,511,098	—	25,511,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,230	—	19,672	—	27,902	△27,902	—
計	16,027,630	3,063,161	5,192,943	1,255,265	25,539,001	△27,902	25,511,098
セグメント利益	612,768	325,455	140,944	53,947	1,133,115	△1,209	1,131,906
セグメント資産	6,887,372	1,284,067	2,891,528	527,060	11,590,028	3,392,163	14,982,191
その他の項目							
減価償却費	23,242	1,450	10,365	2,520	37,579	70,396	107,976
のれん償却額	25,392	—	—	—	25,392	—	25,392
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	24,331	2,631	12,898	1,034	40,895	138,302	179,197

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,209千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額3,392,163千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地であります。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,785,433	2,525,879	4,833,793	1,173,691	23,318,797	—	23,318,797
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	12,816	—	12,816	△12,816	—
計	14,785,433	2,525,879	4,846,610	1,173,691	23,331,614	△12,816	23,318,797
セグメント利益	347,389	230,655	28,458	76,174	682,678	△664	682,014
セグメント資産	7,695,625	1,055,708	3,005,476	490,791	12,247,601	3,241,788	15,489,390
その他の項目							
減価償却費	24,578	1,447	10,726	1,622	38,374	87,385	125,759
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	47,636	—	19,357	—	66,993	46,092	113,086

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△664千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額3,241,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	中国	アジア	その他	合計
20,410,847	2,475,982	1,709,632	914,635	25,511,098

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	中国	アジア	その他	合計
18,540,624	2,046,342	1,746,413	985,417	23,318,797

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
当期末残高	－	－	－	－	－	－	－

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
当期末残高	111,413	－	－	－	111,413	－	111,413

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	786円48銭	803円56銭
1株当たり当期純利益金額	98円25銭	51円85銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,444,166	5,555,241
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	42,224	35,984
(うち非支配株主持分(千円))	(42,224)	(35,984)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,401,941	5,519,257
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,868,505	6,868,505

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	674,837	356,158
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	674,837	356,158
普通株式の期中平均株式数(株)	6,868,591	6,868,505

(重要な後発事象)

該当事項はありません。